

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代の国語			単位	2	単位
対象コース	総合	コース	対象クラス	1 年	4～7 組			
使用教科書	現代の国語 東京書籍							
使用副教材	字義で覚える常用漢字 (浜島書店)							

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。</p> <p>上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「現代の国語」の目標です。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>1、論理的な文章や実用的な文章の読解を通じて、実社会に必要な語彙や常用漢字の知識などを身につけます。</p> <p>2、複数の文章や資料を比較・検討したり、主張と論拠など情報と情報との関係について理解したりすることを通じて、推論の仕方を身につけ情報の妥当性や信頼性について理解を深めます。</p> <p>3、自分の意見を発表したり話し合ったりすることを通じて、自分の考えを的確に伝えられるよう論理展開や表現の仕方を工夫する力を身につけます。</p> <p>4、論理的な文章や実用的な文章を読み、様々な立場の意見を考慮しながら自分の意見や考えを的確に論述する力を身につけます。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1)学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。</p> <p>(2)家庭 予習で次に習う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。授業でそれを確認します。復習は、習った事項の整理と暗記にあててください。</p>

# 3 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<p><b>評価の観点：</b>この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1)知識及び技能 (40%) 様々な語彙や常用漢字の読み書き、言葉の知識など実社会に必要な国語の知識を有しているかを評価します。</p> <p>(2)思考力、判断力、表現力等 (40%) 様々な情報を的確に整理し、論理的に考える力を評価します。また、他者に自分の考えを的確に伝えるために論理展開や表現を工夫したりしながら、より良く相手に伝えようとする態度を有しているかを評価します。</p> <p>(3)学びに向かう力、人間性等 (20%) 言葉が持つ価値について認識を深め、言葉を通じて他者と関わろうとする態度を評価します。また、自己を向上させるために主体的に読書に親しむ態度を有しているかを評価します。</p>
---

## 4 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

- (1) 定期考査 → 年5回実施します。「現代の国語」と「言語文化」を合わせて出題しますが、評価は別々に行います。内容は授業での学習内容に加えて、関連する応用問題も出題します。【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】を評価する材料とします。
- (2) 小テスト → 授業の中で漢字テストなどを実施します。【知識及び技能】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。
- (3) 長期休暇の課題 → 読書感想文・演習問題を宿題として課します。【思考力、判断力、表現力等】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。
- (4) 学期中の課題 → 授業理解の確認のための宿題を課します。【知識及び技能】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。

評価における定期考査の割合

80 %

## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
1	4	<b>視点を変える</b> ○「水の東西」【文化】 山崎 正和 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら本文を読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・西洋の「噴水」との対比を通し、日本の鹿おどしの特徴を読み取ると共に、日本と西洋の水に対する捉え方の違い、また日本人感性の特徴について理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の理解をふまえて、「鹿おどし」のような日本独特の文化を象徴する事柄や事物についても、考えを巡らすことができるようにします。
	5	○「技術が道徳を代行するとき」【科学】 池沢 了  	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、接続詞や指示語に注意し、具体例とその一般化の関係を意識しながら本文を読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・「技術」と「道徳」の関係を理解し、「技術を道徳で〇着替えることの危うさ」はどのような点にあると述べられているのかを理解します。その際に、「しかし」「ところが」など逆説の接続詞の前後の内容に着目・整理し、それがもたらす効果についても理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張日手自分の考えをまとめる力を養います。
	6	<b>言葉へのまなざし</b> ○「言葉は世界を切り分ける」【言語】 今井 むつみ 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「システム」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・問題提起→例示→一般化→回答という本文の構成を理解し、言葉の「『面』としての意味」や「異なる言語は異なる仕方では世界を分節すること」を読み取る力を養います。またその際に、文中で用いられている「——」の表現効果についても理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張日手自分の考えをまとめる力を養います。
		○「解釈」【読者】 外山 滋比古 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「テキスト」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・筆者の考える「解釈」とはなにか、また「読者の解釈」と「表現の不確実性」の関係性を読み取ります。その際に、文中で用いられている「——」の表現効果についても理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張日手自分の考えをまとめる力を養います。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
2	7	<b>メディアを考える</b> ○「広告の形而上学」【社会】 岩井 克人 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「一般」「逆接」「差異」「還元」「言説」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・本文全体の構成を把握し、「現実の動物たち」と「『動物』なるもの」がそれぞれ何のたとえとして用いられているか、その違いを読み取ります。また、資本主義社会における広告の役割と、広告が生み出す「過剰な差異」についても読みと取ります。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の理解を踏まえて、新聞やテレビの広告を見て考えたことについて、自分の言葉で表現できるようにします。
	8 9	○「時間と自由の関係について」【時間】 内山 節 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「一般」「逆接」「差異」「還元」「言説」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・本文全体の構成を把握し、「現実の動物たち」と「『動物』なるもの」がそれぞれ何のたとえとして用いられているか、その違いを読み取ります。また、資本主義社会における広告の役割と、広告が生み出す「過剰な差異」についても読みと取ります。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の理解を踏まえて、新聞やテレビの広告を見て考えたことについて、自分の言葉で表現できるようにします。
	10	<b>共に生きる</b> ○「真の自立とは」【哲学】 鷲田 清一 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、意見と根拠（理由）、問いかけとその答えを確認しながら読み、論理を把握する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・本文全体の構成を把握し、現代社会における「できる」と「できない」の構造とその問題点を読み取ります。また、「生き方」ではなく「生きることの作法」という表現をした筆者の意図について、「作法」という言葉の意味から理解する力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「自立」の在り方について、現代社会における具体的な課題を示しながら、その課題を自分の日常生活に引きつけて意見を述べられるようにします。
	11	○「共鳴し引き出される力」【共生】 伊藤 亜紗 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・筆者が「能力」をどう捉えているかを整理すると共に、「予防」と「予備」の違いや丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」、「『共鳴』の感覚」について読み取る力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を踏まえた上で、「能力」について自分の考えを深めます。
	12	<b>科学から見た人間</b> ○生物の多用性とは何か【環境】 福岡 伸一  	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・筆者が「能力」をどう捉えているかを整理すると共に、「予防」と「予備」の違いや丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」、「『共鳴』の感覚」について読み取る力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を踏まえた上で、「能力」について自分の考えを深めます。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
3	1	<p>○「学ぶことと人間の知恵」【人間】                      広中 平祐</p> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、具体例とその一般化の関係を確認しながら筆者の主張を読み取る力を養います。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容に即して意味段落に分けながら本文を読み、筆者が考える人間の脳の「ゆとり」や「寛容性」とはどのようなものかを理解します。また、「忘却」という人間特有の能力の長所と短所、「知恵」の「広さ」「深さ」「強さ」についても読み取ることを通じて、「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する他の文書を相互に関連付け・比較して、自分の考えを深めます。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張を踏まえた上で、「コンピューター」と「人間」について自分の考えを深めます。</li> </ul>
		<p>2 近代の先へ                      ○「暇と退屈の倫理学」【倫理】                      國分 功一郎</p> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、引用と筆者の主張の関係を確認しながら、筆者の主張を読み取る力を養います。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四段落それぞれで述べられていることを整理して、全体の構成を理解すると共に、「労働者の暇が搾取されている」とはどういうことが筆者の考えを読み取ります。また、「生きることはバラで飾られねばならない」とはどういうことか、傍点が付けられていることによってどのような効果が得られるか理解します。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暇を得た社会の中で個人はどう生きればよいか、筆者の主張を踏まえて自分の考えを深めます。</li> </ul>
	<p>3                      ○「鳥の眼と虫の眼」【文化】                      石井 美保</p> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「表象」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解します。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意味段落に小見出しをつけながら内容を整理し、筆者が『人間の土地』を大人になって読み返したときの「かすかな違和感」とは何かを読み取ります。また、「鳥瞰図への批判と虫の眼への接近」について、筆者の考えを読み取ります。その際に、譲歩する表現や体言止め、倒置法など様々な表現方法の効果についても理解します。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張を踏まえて、物事を見る視点の重要性について、自分の考えをまとめられるようになります。</li> </ul>	